

## 目次

・デートDV防止セミナー	(報告)	.....1
・広島市議会傍聴	(報告)	.....2
・2011国際女性デーひろしま	(報告)	.....2
・日本女性会議2010きょうと	(報告)	.....3
・WENETからお知らせ		.....4

## デートDV防止セミナー (報告)

テーマ「あなたは大切にされていますか ～それって愛？ デートDV?～」

2月19日午後1時半から、中区地域福祉センターで開催し、39名（男性5名・女性34名）の参加がありました。講師は女学院大学教授 石井三恵さんです。

講演は、ご自分に関わりのある学生さんたちのお話を交えながら、私たちの日常について熱意と愛をもってお話してくださいました。



●デートDVは若い子だけの問題ではない。大人も一人ひとりが本当に大切にされているか、人間として尊重されているかを認識する必要がある。大人社会のいじめを子どもたちがまねしているため、学校・社会・家庭教育を通じて、コミュニケーションの大切さ、感情を言葉にする訓練など、昔ヤングだった私たちは人間関係をどう作るのかを子どもたちに教え、子どもたちを応援・支援しなければいけない。

●暴力もいじめと同じである。暴力もころ合いの分かる暴力ではなく、若い子は徹底してやる。立ち上がれなくなるまでの暴力を振るい、死に至るケースもある。暴力は人の生きる権利を奪う行為であり、戦争も暴力である。

●加害者は、愛があるから、被害者のすべてを把握していたいと思っている。また、特別な関係なので、何をしても許されると思っている。そのため、加害者は、被害者の交友関係を厳しく管理したり、被害者の携帯電話を調べたり、給料日に被害者のアルバイト先へお金を無心に来たりなどする。被害者は、加害者からの行為を断ったら加害者から嫌われてしまう、加害者を自分が立ち直らせよう、と思う傾向がある。

まとめとして、①精神的・経済的な自立が必要で、ひとりの人間として自分の意志を持つことが大切②相手を尊重し、自分をも尊重されるコミュニケーションやNOを伝えられるより確かな人間関係を作ることが必要と結ばれました。その後の質疑応答では会場から次々と身近な問題についての質問があり、アンケートには内容の濃い感想も書かれていました。「若い世代の深刻な状況を知り、大人の役割を認識した。」「DVは男女の関係だけでなく、人間関係の基本だと分かった。」「過去のパートナーとの関係で気付くことがあった。」など。この講座開催に当たって、市内の中・高等学校・大学へチラシを送付しました。チラシを見て参加された方もおられました。

(啓発部 阿部京子)

# 広島市議会傍聴（報告）

3月9日、WENET 啓発部が広島市議会傍聴を企画し、10人位の参加がありました。私も今まで傍聴の経験がなかったので興味を持って参加しました。当日の広島市議会本会議は、広島西飛行場の問題、旧市民球場跡地整備事業、オリンピック招致など、来年度の市の予算を決めるもので身近な内容だったため、よく理解できました。

75席ある傍聴席は、関心の高い議事内容であったためか満席のように見えました。残念だったのは、議会開会まで30分待たされたことですが、このような事はよくあると聞きました。時間の無駄は税金の無駄につながりますので、時間厳守で行ってもらいたいと思いました。当日は2月15日から開会した議会の最終日で、これまでの審議を踏まえて最終的に議案に対する議員の意見表明や議決を行う日であったため、市長さんの意見を聞けなかったことも残念でした。このたび、傍聴したことで少しは政治に興味を持って、テレビ、新聞等の報道では伝わらない部分を見ることができました。市民の傍聴で議員の方も緊張感が湧くので、市民が傍聴するのは良いことだと感じました。 (安芸コスモスゾントクラブ 三上芳子)

## <他の参加者の一言感想>

- ・市政がこのような会で決まっていくのだということが分かり、参考になった。
- ・議員の選出に当たっては、市民(選挙民として)の責任を個々が自覚すべきであると強く思う。
- ・国政よりは、議論に関心が持てた。今後も、年に1度くらいは傍聴してもよいと思う。
- ・流れがよく分からず、専門用語も多く分かりにくかった。分かりやすい議会運営がなされればよいと思う。

# 2011国際女性デーひろしま（報告）

3月8日の国際女性デーを記念して、3月6日、広島市女性教育センターにおいて、「2011国際女性デーひろしま」の集会が開催され、180人の参加者がありました。



開会前、ロビーのバザー会場では多くの参加者が交流し、にぎわいました。開会行事は、「広島市と共催して8回目を迎え、世界に向かって広島の女性たちの平和への思いを発信すべく、市民に展示会場2カ所で啓発し、新たにインターネットで同時交流を始めました。世界の人々と平和な社会をつくりましょう。」と実行委員長のあいさつで始まり、湯崎県知事、秋葉市長からのメッセージの披露がありました。活動交流では全日本年金者組合広島県本部女性部・第57回日本母親大会広島実行委員会・2011国際女性デーひろしま実行委員会が熱心な報告をされました。

「世界からのメッセージ」は68の国と地域から283通が届きました。

今年のテーマは「女性たちの生き方」で、映画と歌・語りがありました。ソプラノ歌手車景實さんは韓国・大邱広域市から広島へ留学してこられた当時の思いや広島の印象、日本と韓国との文化の違いを織り交ぜて、歌で人生を生き、一途に歌に打ち込めることの喜びを優しく話され、気負いのない語りに会場の参加者もうなずき、美しい歌声にうっとり聞き入っていました。続いて映画監督根来祐さんのあいさつとドキュメンタリー映画「HER STORIES」の上映があり、来場者は、根来監督自身と母親と祖母の3代の人生を日常の中から描いた映画に感動し、根来さんの気どらないあいさつにも感激の聲が寄せられていました。

雨のため、集会終了後にタカノ橋商店街を「'Stronger Women Build Bridges of Peace' JAPAN」と記入したピンクと緑色の横断幕を持ち行進し、終了しました。 (実行委員長 信政ちえ子)

# 日本女性会議2010きょうと (報告)

日 程 2010年10月1日(金) 分科会(11のテーマに分かれた分科会)  
2010年10月2日(土) 全体会  
(開会式・基調報告・基調講演・記念講演・シンポジウム・閉会式)  
2010年10月3日(日) 市内視察  
場 所 国立京都国際会館  
テーマ ～一人ひとりが輝く、色彩あふれる世界へ～

1日目は広島大会と同様、分科会。私は第5分科会「子どもを真ん中に～男女共同参画のあり方を子どもの視点で考える～」に参加。児童館の職員さんが子どもにふんして児童館の先生に自分の



思いを訴えてくるという寸劇を交えてのディスカッションでした。その中で気が付いたのは、親の忙しさの中で子どもが置き去りにされている現実です。大人が一杯一杯で、何をおいても子どもに向き合うという心の余裕を見失っているんだなあとつくづく…。親世代に「生きている幸福感」とでもいうような感覚の実感が持てないでいるように思いました。

「自分が大切にされているという自尊感情を高めていく」ことをパネリストの方々が繰り返し話されました。やはり、これからは地域の持つ力が大事になってくるのではないのでしょうか。そこでお役に立てるのは、私たち、高齢者世代。私たちは自分の子育てを踏まえて、あらためて「地域で育てる」ための役割を学ばなくては…と思いました。温かい“おせっかい”がしたいものです。

2日目は全体会。「茂山狂言会」の演ずる狂言「濯川(すすぎがわ)」も、家事を次々言いつけられる婿殿が一計を案じるという愉快的出し物で、たっぷり楽しませていただきました。弁護士の渥美雅子さんと夫の剛治さんの掛け合い講談「男女共同参画版・山内一豊の妻」もなかなかのものでした。また、パネルディスカッションで披露された京都市長門川大作さんの話も、これまでの“エライさん”にはない生き方で、気負いのない話しぶりにもその様子がうかがえました。



長い不況の時代にあって、生きづらさを感じている若い人が多いようです。「生きやすい社会」にしていくには、子どもや若者を自立(経済的にも精神的にも)に向けて育てることとケア(家事・育児・介護)面でのサポートの取り組みを社会全体でしていくことが必要という結論に至りました。大上段に構える風でなく、さすが京都と思わせる大会でした。

(アルコ・デ・ヒロシマ 平木久恵)

## ☆ WENET総会（開催予告）

日 時 2011年5月28日（土） 10時～11時30分

場 所 広島市中区地域福祉センター

5階ボランティア研修室



議 題 2010年度事業報告、決算報告、  
2011年度事業計画(案)、予算(案)等

\*総会後に、昼食会を予定しています。

## 日本女性会議2011松江 開催のおしらせ

日 時 2011年10月14日（金）分科会・交流会  
2011年10月15日（土）開会式・基調報告・記念講演会シンポジウム・閉会式  
2011年10月16日（日）エクスカージョン（視察研修）

場 所 くにびきメッセ・松江テルサ

テーマ 「語ろう・紡ごう、“だんだん”の縁（えにし）を世界に」

主 催 日本女性会議2011松江実行委員会、松江市

☆広島市男女共同参画課へ、松江市からパンフレットやポスターなどが届き次第、WENETの会員の皆様に情報提供いたします。奮ってご参加ください。

### 編集後記

編集時に東北地方太平洋沖地震が起きて、福島第1原子力発電所の事故も発生しました。「人類は核と共存できない」と、故森瀧一郎さんが言われていましたが、ヒロシマの地の責務を考えさせられます。平和で安全な豊かな社会を希求し、できることを行動し、被災者の人々へ祈り続けましょう。

WENETニュース 第31号 2011年3月24日

発行者 広島市女性団体連絡会議(広島市市民局人権啓発部 男女共同参画課気付)

責任者 西田志都枝